

## 平成19年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	なやプラザ〔市民活動センター・なや学習センター〕
所在地	四日市市蔵町4-17
指定管理者	<p>名称 四日市NPOセクター会議「なやプラザ」運営委員会</p> <p>代表者 特定非営利活動法人市民社会研究所代表理事 松井真理子</p> <p>住所 四日市市萱生町1200番地</p> <p>構成団体 (特) 市民社会研究所</p> <p>(特) クロスポイント</p> <p>(特) ドッグイヤー</p> <p>(特) 障害者福祉チャレンジド・ネット</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部室(問合せ先)	<p>市民文化部市民生活課</p> <p>TEL：059-354-8179</p> <p>E-mail：shiminseikatsu@city.yokkaichi.mie.jp</p>

### ■ モニタリングの総合コメント

なやプラザの施設の目的は、市民活動団体や生涯学習活動、まちづくり活動を行う団体への支援であり、その管理運営実施状況については、施設の目的を達成しながら、指定管理者導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われていることから総合的に判断して良好と評価します。

管理運営については、計画どおり運営され、延べ利用者数で前年比で約9%増加しました。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施されました。

自主事業については、昨年度より内容・回数を充実させた努力に好感が持てました。今後は市民活動団体である指定管理者の特色を活かしながらさらなる充実を図ることを期待したいと感じました。

経費については、指定管理者の様々な経営努力により、黒字となることができました。

### ■ 今後の業務改善に向けた考え方

当施設の最大の目的であるNPO活動の促進、生涯学習活動の支援について、更なる充実が図られ、安心して施設利用、事業への参加ができることを期待します。

ソフト面では、今年度も総利用者数が増加し、仕様書の定める自主事業の利用者数についても増加しています。一方相談件数については半減しており、自主事業及び啓発・広報活動の効果の表れと、とらえることもできますが、さらなるステップアップのため、広報面等での工夫を期待します。その広報面ですが、ホームページの運営を前年同様適切におこなっていただくとともに、なやプラザニュースについて、判りやすく親しみやすいレイアウトに内容を一新する等、よりよい状態への取り組みを行ったことについて評価いたします。今後も引き続き、利用者・市民に対し、なやプラザについて、及び四日市市の市民活動についての理解を深める内容となるように努力を続けてください。ハード面では、前年の検討課題として、利用者が増加したことで汚れが目立つことにならないよう注意していただくよう要望いたしました。月次モニタリング時に目立った汚れもなく、利用者からの大きなクレームもないことから、指定管理者の努力により良好な水準を維持していると判断します。今後も良好な水準を保つよう努めてください。

## 基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

### 合目的性・公平性・効果性

市民活動団体や生涯学習活動、まちづくり活動を行う団体への貸館、市民活動や生涯学習活動への相談、市民活動や生涯学習活動に関する事業等施設の目的に沿った実施方針に基づき適切に運営が行われていました。施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。施設の効用については、延べ利用者数が前年より増加し、単年度で5万人を超える利用となりました。管理経費については、当初計画より増加しましたが、収入の範囲内で執行されていました。また、市民活動団体、生涯学習団体の育成支援に一定の成果がありました。

## 業務内容

### 機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

市民活動団体や生涯学習活動団体への支援のために、施設運営に関する業務、相談業務、自主事業を事業計画に則って適切に実施していました。昨年度に引き続き、施設利用者数の増加がみられましたが、単に指定管理者になって利便性が向上したというだけに留まらない、使い勝手のよさ等が利用者に評価され、支持された結果といえるでしょう。窓口やアンケート等により利用者から得た意見・要望等についても、前向きにとらえ、検討し今後の改善に役立てていました。

### 責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し適切に運営されていました。施設の維持管理についても毎月の計画と結果を2ヶ月に一度の運営協議会に報告し、計画通り実施されていました。

### 明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

貸館使用料等の利用料金などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理され、領収書や経理関係調書も整理保管されていました。施設の利用に関する許可申請書、保守点検等に関する報告書類も整理保管されていました。

### 安全性（安全管理、緊急時等の対応）

防災等の各種対応マニュアルを作成し、防災訓練・AED操作研修等の訓練も実施されていました。施設賠償責任保険の加入もされていました。

### 社会性（環境等への配慮）

不要個所の照明の消灯等、冷暖房温度の省エネ設定の徹底等について、スイッチ付近への掲示による周知など、創意工夫をして実施されていました。

## 事業収支

### 経済性

事業収支について当初計画の範囲内において適正に執行されました。収入は計画より増加しましたが、支出についても指定管理者の努力により、ほぼ収支均衡となるレベルとなりました。

## 団体の経営状態

### 経営の健全性

指定管理者から提出された財務状況について、構成する4団体すべての財務諸表等を分析した結果、特に大きな課題や問題はなく、4団体とも財務指標についても特に問題はないと判断しました。

# 施設概要調書

## 1. 施設の概要

平成19年度

施設名	なやプラザ [市民活動センター・なや学習センター]		所管課:市民生活課
所在地	四日市市蔵町4番17号		設置年月:平成11年5月
設置目的	市民活動団体の活動・交流の拠点施設としてNPO活動を促進するため、及び市民の生涯学習活動を支援し、まちづくり活動を促進するため設置。		
設置の根拠 (法令、条例等)	市民活動センター条例、なや学習センター条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	7142.66
		延床面積 (㎡)	1563.28
	<有料>会議室 5室、音楽室 1室(ピアノ)、工学演習室 1室(サーバ機1台、クライアント機21台、プリンター5台等)、印刷コーナー <無料>事務スペース、フリースペース(作業、会議用)、パソコンコーナー、図書コーナー、資料コーナー		
事業概要	(1) パソコン等付属設備の貸し出し (2) フリースペースの開放 (3) 資料コーナーでの情報発信 (4) 本の閲覧、貸し出し (5) NPO法人設立など、市民活動全般に関する相談 (6) 市内のコミュニティー活動や、市内の学習グループなどの活動の場として提供。		

## 2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)
開館日数	348日	348日
開館時間	9:00~22:00	9:00~22:00
事業開催	講座 (13回)	講座 (14回)

## 3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)
貸し室等利用回数 (回)	会議室 1	822回
	会議室 2	623回
	会議室 3	516回
	会議室 4	376回
	会議室 5	435回
	音楽室	801回
	工学演習室	200回
	計	3,773回
施設利用人数 (人)	会議室 1	9,060人
	会議室 2	6,596人
	会議室 3	5,790人
	会議室 4	4,044人
	会議室 5	5,241人
	音楽室	11,292人
	工学演習室	2,301人
	その他利用	8,548人
計	52,872人	
相談件数		35人
講座等参加者数	60人	65人

## 4. 事業収支

(単位：円)

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)
貸し室利用料金 収入	会議室 1		1,046,390
	会議室 2		767,570
	会議室 3		635,670
	会議室 4		488,740
	会議室 5		606,860
	音楽室		1,136,350
	工学演習室		684,200
	計	4,300,000	5,365,780
その他料金収入		850,000	1,052,682
自主事業収入		50,000	99,100
指定管理料		11,500,000	11,500,000
その他収入		100,000	126,886
前期繰越差額		300,000	179,814
収入計 (A)		17,100,000	18,324,262
1 事業費	1) 情報収集・提供事業	1,000,000	1,141,534
2 管理運営費	1) 給料手当	9,800,000	10,117,425
	2) 法定福利費等	400,000	369,319
	3) 報償費	300,000	252,000
	4) 研修費	30,000	64,447
	5) 修繕費	150,000	83,012
	6) 通信運搬費	250,000	443,782
	7) 備品費	150,000	38,656
	8) 消耗品費	400,000	773,845
	9) 印刷製本費	50,000	0
	10) 光熱水料費	1,900,000	2,210,059
	11) 燃料費	5,000	0
	12) 清掃委託料	400,000	416,748
	13) 保守点検料	650,000	748,560
	14) その他の委託料	280,000	250,000
	15) 保険料	13,830	12,880
	16) 租税公課	20,000	21,097
	17) 支払手数料	1,000	1,050
	18) 事務用品費	800,000	824,910
	19) 旅費交通費	30,000	23,560
	20) 図書費	50,000	2,025
	21) 会議費	10,000	6,940
	22) 雑費	290,170	230,760
3 諸税	1) 納税準備金	120,000	103,380
支出合計 (B)		17,100,000	18,136,259
収支 (A) - (B)		0	188,273